Key words 啓発活動，測定データの活用，多職種連携

臨床検査技師として関わった
糖尿病啓発活動の取り組み

医療法人　王子総合病院　臨床検査科　**成田和希**

近年，糖尿病療養指導には，医師を始め，様々な職種のコメディカルがチーム医療として情報を共有し，多方向からのアプローチで指導・教育を行っています．その中での臨床検査技師の役割としては，血糖自己測定を中心とした療養指導が中心となりますが，今回はそれに加え，臨床検査技師として取り組んできた，糖尿病に関する啓発活動について紹介させて頂きたいと思います．

糖尿病療養指導

当院臨床検査科では，患者様に測定して頂いた血糖自己測定のデータを，統計ソフトを使い，グラフにしてお渡しすると共に，そのデータを活用して療養指導を行っています．指導の際には，測定した結果に対する生活の振り返りをしてもらうことをお願いし，高血糖・低血糖の原因がはっきりしない測定値に関しては，その要因を患者様と一緒に考え，解決し，医師に伝えています．また，指導中の会話で知り得た情報も同時に医師へと伝えています．その他に，臨床検査技師が携わる検査全般に関する情報提供，血糖自己測定器のメンテナンス，測定手技の教育と確認，測定試薬の在庫チェックと払い出しを行っています．

院内 CDE の会・糖尿病教室への参加

現在，当院には CDEJ が 13 名（看護師 5 名，管理栄養士 4 名，臨床検査技師 3 名，理学療法士 1 名）在籍しておりますが，看護師，管理栄養士，臨床検査技師が CDEJ の資格を取得した際に，各職種間の連携と情報交換を目的として，院内 CDE の会を設立しました．現在は月 1 回の症例検討会および勉強会，糖尿病教室の開催，世界糖尿病デーのイベントの企画・運営をしています．

糖尿病教室は月 1 回開催しており，医師 + 各コメディカル（看護師・管理栄養士・薬剤師・臨床検査技師・理学療法士・歯科衛生士）1 職種が持ち回りで担当しています．当科の役割は，糖尿病に関わる検査・血糖自己測定について，動脈硬化と ABI 測定についてなど，実際に測定器で検査し，聴講者も参加できる教室を目指して企画しています．また，11 月は糖尿病教室と並行して，世界糖尿病デーのイベントも開催しています．病院のエントランスホールにて特設ブースを設営，各コメディカルが参加し，当科としては血糖自己測定器の展示・測定や検査に関わる質問・相談などを主に，糖尿病の啓発活動に取り組んでいます．教室やイベントを通して，普段は病院の採血でしか測定しない血糖値を，自分で簡単に測定できることで，血糖自己測定に関心を持っていただける重要な機会となっています．

他職種への講習

現在，看護師の新人研修および院内の看護師に向けて，血糖自己測定を中心に，年数回の講習を行っています．血糖自己測定器の測定原理，測定手順を始め，測定に関する注意事項や外部からの影響因子についてお話しすることにより，血糖自己測定の理解を深めてもらい，業務に役立ててもらえるよう努めています．今後は更に他職種に向けて情報を発信できるよう，活動していきたいと思っています．

世界糖尿病デー　イベントの様子

おわりに

糖尿病の患者数は年々増加の一途をたどり，今後，糖尿病療養指導士の役割は益々重要となってきます．糖尿病患者様の療養指導はもちろんのこと，糖尿病の予防の観点からも，今後も継続した啓発活動を続けていきたいと思います．